

### 3 総合的な課題の整理

5つの視点からみた課題と取組みからみた課題をひまえ総合的な課題を整理しました。

#### 【5つの視点からみた課題】

##### 空から見た緑と水

- ・自然性の高い緑と水の保全、まちなかの緑の創出と整備
- ・住宅地や商業・工業用地において緑と水を増やすための支援とその手法の検討

##### 利用できる緑と水

- ・市民農園等の活用とその手法の検討、遊歩道や歩道等の整備
- ・様々な世代のニーズに合わせた整備の促進、市民と協働での効率的な維持管理

##### 生き物の生活を支える緑と水

- ・生物多様性の視点をもった緑地の保全・維持管理と自然体験の場としての活用
- ・公園や道路沿いの緑など生き物の移動経路となる空間の整備

##### 安全・安心を支える緑と水

- ・公園、農地や崖線の維持管理と雨水浸透施設の設置等による健全な水循環の確保
- ・駅周辺などのまちなかの防災性の向上を図った空地の確保と緑化の推進
- ・公園等での防災施設の充実や避難経路となる街路樹の維持管理の推進

##### 快適で豊かな暮らしを支える緑と水

- ・代表的な緑と水の景観の保全、地域性・歴史の継承のための手法の検討
- ・まちの魅力向上と清涼感を供給する緑の配置

#### 【取組みからみた課題】

##### 大切な緑を守る

- ・樹林・樹木・生け垣の維持管理、保全の継続と重要性の普及啓発、活用の促進
- ・農地の生産緑地指定やパトロール等による保全と市民農園整備による利用の推進
- ・生き物の生活場所となるまとまった規模の緑の空間の保全の継続

##### 緑をつなぐ

- ・生き物のネットワークとなる道路沿いの街路樹等の適切な維持管理の検討
- ・河川・水路沿いの遊歩道や歩道の維持管理と整備に伴う緑化の推進
- ・公園内のピオトープの利用や水路・湧水を活用するための手法の検討

##### 緑を感じるまちなみを育む

- ・様々な世代が利用できるような公園の整備とバリアフリー化の推進
- ・まちの顔である学校や市庁舎などの公共施設の緑化の推進
- ・民有地の緑化を支援する制度の周知徹底
- ・緑の維持管理における行政、市民、企業等との協力と活動団体への支援の継続

##### 市民参画により、緑を学び親しむ

- ・緑と水、生き物に関する情報の収集・分析と、より効果的な普及啓発手法の検討
- ・行政における全庁的・継続的な取組体制の強化と協働による取組の活性化

##### 計画の目標達成状況からみた課題

- ・社会状況の変化に対応した、市民にとってわかりやすい目標値の検討
- ・取組みや緑と水の質の向上が目標達成につながるような新たな目標の設定検討



#### 【計画の新しい視点】

- ◆ 水をふくめた、緑と水のまちづくり実現のための計画とします
- ◆ 緑と水に期待する役割として、生物多様性の確保についても考えます
- ◆ まちに暮らす人々の目線で、福生市の緑と水を考えます
- ◆ 市民との協働による維持管理の仕組みづくりについて考えます
- ◆ 緑と水の量だけではなく、質を高めていくことを大事にします
- ◆ 市民にわかりやすい目標を示すとともに、施策の進捗状況を公表します

## 【総合的な課題の整理】

## ◆ 大切な緑と水の保全と活用

拝島崖線と立川崖線に残る樹林地と湧水、社寺林、農地など、古くから育まれ、密接に関係し合う様々な緑と水が身近に存在しています。熊川分水や福生分水、文化の森など、人々の手によって維持されてきた空間も少なくありません。生き物にとって重要な生息場所ともなるこれらの大切な緑の水の保全を図った適切な維持管理を進めるとともに、自然体験や環境学習などの活用を促進することが必要です。

## ◆ 緑と水のネットワーク形成の推進

多摩川とその河川敷や玉川上水・熊川分水とその水路沿いの樹林地は福生市の骨格であり、道路沿いの街路樹は、大切な緑と水や公園などの拠点をつなぐ軸となります。連続性のある緑と水は、多様な生き物の移動経路や回遊性の向上など様々な役割を果たします。

これらの緑と水のネットワーク形成を図り、骨格や軸となる緑と水の保全と維持管理を進めるとともに、市街地の中にも、拠点となる公園を補完する緑と水の配置を検討することが必要です。

## ◆ 緑と水の持つ機能の向上を図った緑と水の創出と管理

緑と水の機能をより効果的に発揮するため、公共施設や駅、民有地などのまちなかの緑化や、利用できる緑と水の創出を推進するとともに、それらの適切な整備と維持管理を継続することが必要です。

## ◆ 緑と水によるいきいきしたまちづくりの推進

福生市では、行政が主体となった水と緑の取組みのほかにも、市民主体や行政と市民の協働による様々な取組みが、まちなかや河川敷、崖線や公園など、いたるところで行われています。

これらの取組みを市民に知ってもらうため、緑と水、そこに暮らす生き物に関する基礎情報の蓄積と情報発信、環境教育やイベント・講習会等による普及啓発を促進し、福生市民の緑と水への愛着を醸成することが必要です。さらに、緑と水によるいきいきしたまちづくりを推進するため、取組みの活性化を図った取組体制の強化や内容の充実、支援を継続していくことが必要です。

緑と水のまちづくりのテーマ・緑と水の将来像・計画の基本方針へ